

## 京都ホテルオークラ 改装客室について

2006年1月より3カ年計画で客室リニューアルを行いエグゼクティブフロアを除く全客室の改装が2008年2月に完成いたしました。

客室コンセプトは、京都らしい伝統的な“和”の要素を取り入りいれながらも、モダンさを表現。直線や陰影の美しさを大切に“和”の様式の採用した。創業1888年の歴史や伝統に培われた京都独自の文化のエスプリと、オークラグループのブランドにふさわしいスタイルを融合させた。

京都ホテルオークラのブランド認知度の向上と、競争力強化を図る。

エルダー層にもやさしいバリアフリーにも気を配り、安らぎ、癒し空間としての客室を提供してゆきます。

\*\*\*\*\*

### 《客室デザイン》

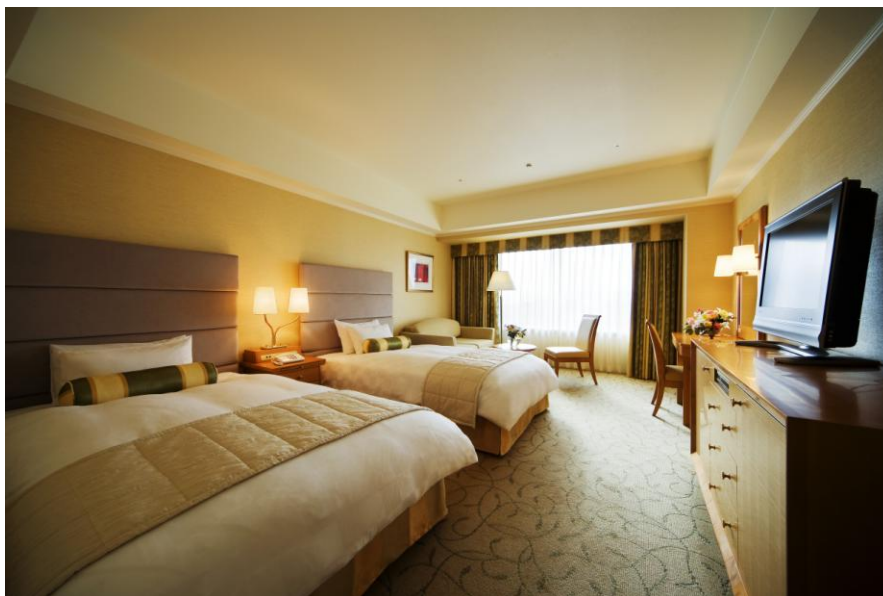
#### Aタイプ

色目はBタイプより弱冠明るい。柔らかい自然に溶けこむような部屋全体の色調は、京都で過ごすひとときを「自分の家に帰ってきた時のような安心感と安らぎ」を感じてくつろげるものになるよう工夫した。

ゆっくりからだを休められるようソファも大きめで深いサイズ。カーペットも毛足の長めのソフトタッチ。

色目は、柑子色(黄色系)、橘の色(宮廷ゆかりの色)、鞠塵色、(緑色系、皇室しか使えなかった色)、鳥の子色(卵の殻の色)を、テキスタイルやドレープで使用。

“つた柄”は“京都御所内の右近のたちばな”でも有名なたちばなの葉をイメージしている。



## Bタイプ

京都を意識して創られたロビーとイメージがクロスするよう少しアーバンな色調。

(ロビーは茶系濃淡の大理石やイタリアンベージュの濃淡で大きな空間を創っている。)

同時に今の時代にふさわしい機能的なデザイン。

壁面に設置させたテーブルは孤を描き身体に優しくフィットし、室内での導線も考え広く使えるようなライン。PCなどを使用する際にも疲れにくい椅子は軽く移動しやすいローリングタイプ。背もたれは適度に自然な角度がつく現代的なデザイン。

大きめの鏡が部屋をより広く見せてくれる。廊下スペースにも、大きめの鏡を備え付け、女性客のみだけでなく近年外見も大事にするビジネスエグゼクティブ層の男性の身だしなみも意識した。

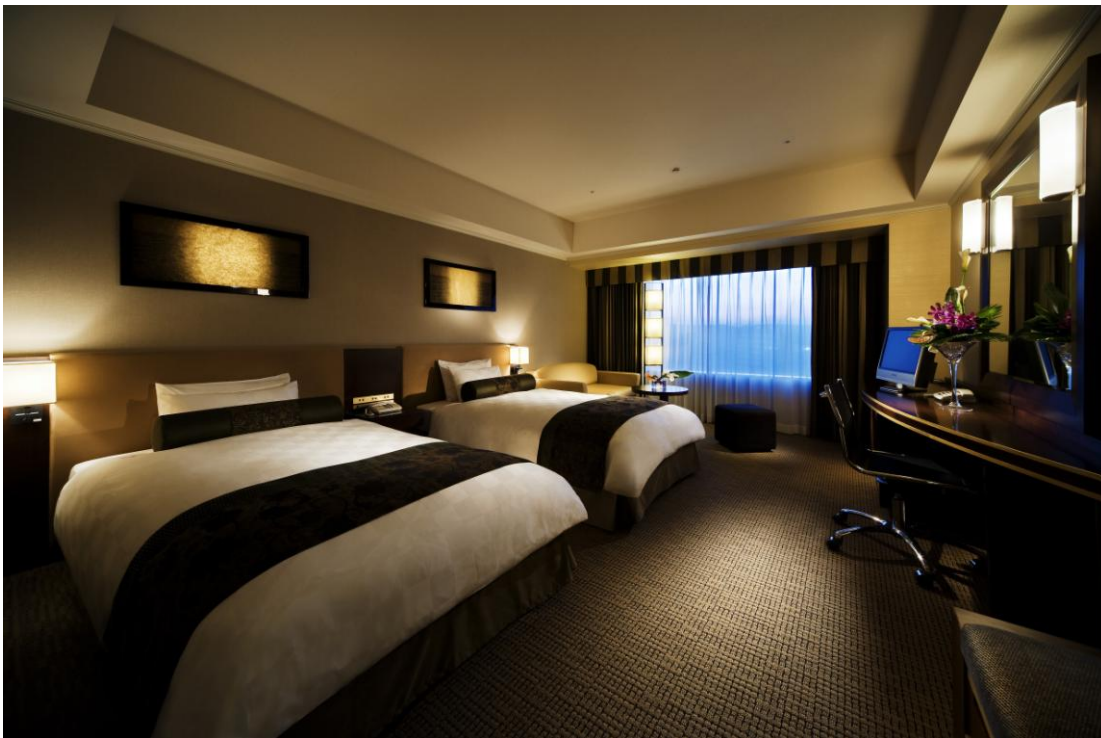
寝室に入って直ぐのバゲージ台もソフトに仕上げ、洒落たテキスタイルで加工。柔らかなタッチが、旅の荷を降ろす場所にあることで、心理的にも疲れをほぐし自分の家に戻ったような安らぎ感を与える。

京都には織や陶磁器の選れた染色の伝統がある。自然の恵みから色を出しそれを生活にとりこんだ。

蓬色、萌黄色、鶯色、利休鼠、檜皮色、鶯色などの伝統色を部屋のカラースキムに使用。

アートワークには和紙に金をほどこし、華やかさをそえている。

京都らしい和のテイストをコンテンポラリーに表現した客室。



★本件に関するお問い合わせは

京都ホテルオークラ 営業企画部 企画開発課 広報担当 坂田

京都市中京区河原町御池 TEL 075-254-2524 (直通)

e-mail [sakata@kyotohotel.co.jp](mailto:sakata@kyotohotel.co.jp)

<http://www.kyotohotel.co.jp/>

## 我々のホテルの歴史

洋館づくり 3 階建の常盤ホテルから出発した現在までの京都ホテルオークラの歴史です。

前田又吉は、伊藤博文とも親交を持つ神戸出身の事業家。

ロシア皇帝ニコライをはじめ世界から多くの賓客をお迎えした歴史があります。

明治 21 年 (1888)	創業 神戸の実業家 前田又吉氏が「常盤ホテル」を開業
明治 22 年 (1889)	長州藩屋敷跡の払下げを受け本格的洋風ホテルの建設に着手
明治 23 年 (1890)	洋風木造 3 階建て「常盤ホテル」が竣工
明治 27 年 (1894)	井上喜太郎氏が、「常盤ホテル」を買い取り。名称「京都ホテル」と改める
大正 4 年 (1915)	大正天皇即位の礼に際し、国賓使節の宿舎として、全館宮内庁の 借り上げとなる。
昭和 3 年 (1928)	旧館跡地にルネッサンス様式の鉄筋コンクリート 7 階建洋館新築、営業開始。 11 月、昭和天皇即位の礼に際し、国賓使節の宿舎として、全館宮内省の借り上げ となる
昭和 36 年 (1961)	南館増築(客室合計 215 室)
昭和 44 年 (1969)	北館増築(客室合計 517 室)
昭和 63 年 (1988)	創業 100 周年
平成 3 年 (1991)	1 月 1 日、「京都ホテル」全面建替え計画の為休業に入る
平成 6 年 (1994)	7 月 10 日、リオープン (客室数 322 室)
平成 14 年 (2002)	ホテルオークラと業務提携し、2 月 1 日、 <b>京都ホテルオークラ</b> として新たな出発を した。